



3.11 追悼企画

いのちの
つどい

書:立命館大学書道部

2018年3月11日(日) 13:00-17:00 (開場12:00)

会場

立命館大学朱雀キャンパス 多目的ホール (定員100名)

主旨

立命館災害復興支援室では、2012年度より、東日本大震災が発災した3月11日に追悼企画「いのちのつどい」を実施して参りました。

これは学園の名前に「命」の字が含まれていることから、立命館大学にて毎年12月に開催の「不戦のつどい」にならい、相次ぐ災害により亡くなった方々を想うと共に生命の尊さに思いを馳せる企画です。

今年度も立命館朱雀キャンパスを会場に、災害からの復興や災害に備えることについてわたしたちにできることを考える機会としたいと思います。

■オープニング 13:00- *提供：福島県庁
『MIRAI 2061』ふくしまの希望を描くショート・ミュージカル・ムービーの上映

■講演 13:10- 『復興災害の構図と住まい・まちづくり』
塩崎賢明（立命館大学政策科学部特別招聘教授）

<プロフィール>

1947年川崎市生まれ、和歌山県、大阪府で成長、茨木高校、京都大学卒。神戸大学助手、助教授、教授を経て立命館大学教授（神戸大学名誉教授）。その間、オクスフォード大学（セントキャサリンズカレッジ）、バーミンガム大学で客員研究員。阪神・淡路大震災を契機に復興まちづくり、住宅復興研究に取り組み、国内の震災、台湾、トルコ、インドネシア、中国の震災復興調査に関わる。住宅復興研究で2007年度日本建築学会賞（論文賞）受賞。所属学会；建築学会、都市計画学会、災害復興学会。日本住宅会議理事長、NPO西山卯三記念すまい・まちづくり文庫理事長、兵庫県震災復興研究センター代表理事、阪神淡路まちづくり支援機構所属。目下、東日本大震災の復興支援に最大の関心を抱いている。

■シンポジウム 13:55- 「復興7年目の現状とわたしたちにできること」

<登壇者> 丹波史紀（立命館大学産業社会学部准教授）
平野桃子（大船渡市災害復興局復興政策課管理係主事）
田中陽（立命館大学スポーツ健康科学部2年/チャレンジ・ふくしま塾2017塾生）
<進行> 久保田崇（立命館復興支援室副室長/立命館大学公務研究科教授）

■追悼式典 14:30-14:50

モダンジャズバレエ部による追悼のダンス
追悼のことば 建山和由（立命館災害復興支援室長）
黙祷

■学生・生徒による活動報告会 15:05-16:50

<報告グループ/報告者氏名>

- チャレンジ、ふくしま塾
立命館大学 田中陽・森雄一朗・吉村大樹・田中巴実
立命館大学大学院 山室啓介・柴田瑞貴
- 大船渡まちづくりプロジェクト
立命館大学 岡村絢香・山本叶也・田中巴実・齋藤光
- そよ風届け隊
立命館大学 吉村大樹
- 立命館高等学校 立命館ボランティア局RIVIO
立命館高等学校1年生 桂 夕貴・赤瀬結香・白波瀬仁美
- 立命館高等学2017年度SGH東北復興防災研修と事後ACTION「福島フェア」
GL(Global Learning)コース 3年 高木 瑞穂・西村麻里奈
- 立命館宇治高等学校「がまだすKUMATOMOグループ」
文科コース 2年 中島千歩・2年 伊藤ゆきの、IMコース 2年 吉田萌乃佳

■終了 17:00

●学生・生徒による活動紹介 ポスター展
示 12:00-17:00

チャレンジ・ふくしま塾 現地視察報告
ならは31人の生の物語2017
立命館宇治高等学校「がまだす
KUMATOMOグループ」
立命館高等学校 ボランティア局RIVIO
福島県庁 広報課

●関連企画

復興+R基金 学生・生徒の活動支援 古本募金 2018年3月1日(木)-月末まで
古本・中古CD/DVDの寄付を受付ます。読み終えられた書籍等を3月11日追悼企画会場までお持ちください。
書籍類は換金し、立命館の生徒・学生の活動を支援する「復興+R基金」で活用させていただきます。
当日会場にお越しにならない方で、寄付をご希望の方は災害復興支援室までご連絡ください。